



小学生、中学生に読んでもらいたい記事をおいています。読めない字があったら、おうちのの人に教えてもらってね。

わたし みちか ぶん かざい 私たちの身近な文化財

小川村開拓当初の復元住居

小平市は、江戸時代前期に玉川上水が掘られ通水した後の明暦3年(1657)、多摩郡岸村(現在の武蔵村山市)の小川九郎兵衛らによる小川村の開拓が始まります。現在、市内には、開拓当初の生活の様子が見られるところは残っていませんが、小川九郎兵衛家(現在の小川町1丁目)には、開拓当初の村人が住んでいた家のつくりを記した文書が残されていました。

そこには、当時の家のつくりについてくわしく書いてあり、具体的には、間口(建物幅)を広くして奥行きを狭く作り、大きさは二人・四人・六人宅の3種類があり、二人宅が間口三間半(約6.3m)、奥行き二間(約3.6m)、四人宅が間口四間半(約8.1m)、奥行き二間半(約4.5m)、六人宅が間口五間(約9m)、奥行き三間(約5.4m)、と記され、それぞれ三尺(約90cm)の下屋(屋根とは別に張り出すように1階につけられた小屋根)がついて



〈写真1 開拓当初の復元住居〉

るとあります。構造は、柱に丸太を使い、地面に穴を掘りその中に差し込んで建てる「掘立柱」とし、柱の素材はクリで、梁や桁にはマツが使われていました。また屋根は、藁または萱(ススキの一種)・麦藁で葺き、外壁は萱か麦藁で覆われていました。床には細い竹を編んだものを敷いたり、糊(稲や麦の実を覆う殻)や藁屑等を地面に敷き詰めてその上に蓆(藁の編み物)を敷いていました。これが当時、開拓のため村にやってきた人たちの住まいでした。小平ふる

さと村では、この記録をもとに、開拓当時の住まいを体感できるように、「開拓当初の復元住居」として再現し、野外展示しています(写真1)。

また、ふるさと村には、開拓から約200年後の、江戸時代の終わりごろ(今から約160年前)につくられた小平市内の古民家も移築復元されています(写真2)。こちらは柱を石の上に置く礎石建てであり、外壁は泥壁、床は板張りの畳敷きで、建具には障子が使われています。私たちが現在まわりで目にする復元古民家はこちらのつくりものがほとんどであり、開拓当初の復元住居と比べると、長い年月の経過とともに、そのつくりが変



わってきている様子が見えます。また、この復元住居から、もともと野原のようで荒れ地に近かったこの地に住み着いた村人たちの当初の生活が、とても厳しかったこともうかがえます。

小平市は小川村の開拓をきっかけとして始まり、現在は人口19万人もの都市になりました。小平市の今の繁栄は、この地を開拓・継承してきた先人の努力の上であり、今の私たちの豊かな生活に繋がっています。この開拓当初の復元住居をみることで、無人の原野を開拓し、小平市に豊かな地を築こうとした先人たちがいかに賢く、たくましかったかをしのぶことができるのではないのでしょうか?

白梅学園大学と学校インターンシップに係る協定を締結しました

令和5年5月30日に白梅学園大学と「学校インターンシップ」に係る協定を締結しました。

本協定は、小平市立学校において、白梅学園大学の学生を実習生として受け入れ、教員養成に向けて連携するとともに、小平市の教育の充実・発展及び学生の就業意欲の向上を目的として締結したものです。(指導課)



小金井市・東大和市と図書館の相互利用が始まりました

小金井市・東大和市と図書館相互利用協定を締結しました。小金井市立図書館では令和5年4月1日(土)から、東大和市立図書館では5月24日(水)から本やCD等を借りることができるようになりました。

利用の際は各市の図書館で登録の手続きが必要です。
問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246



小金井市立図書館



東大和市立図書館

中央公民館 友・遊子どもまつり

ゲームやスポーツ、遊びなどのわくわくする体験や、楽しい工作、映画会など、イベント盛りだくさんのおまつりを開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

とき 8月26日(土)午前10時から午後2時まで

ところ 中央公民館

対象 市内在住・在学の小・中学生(未就学児は保護者同伴)

問合せ 中央公民館 ☎042(341)0861



小平市 平櫛田中彫刻美術館
KODAIRA HIRAKUSHI DENCHU ART MUSEUM

夏休みは平櫛田中彫刻美術館で芸術体験

◆夏休みわくわく体験美術館

夏休みの一日を美術館で過ごしてみよう!クイズに答えて、平櫛田中や美術館のことを楽しく知ろう!夏休み期間中、小・中学生は無料で観覧できます(同伴の保護者の方は観覧料が必要)。来館した小・中学生には、平櫛田中の生涯を描いた漫画『田中彫刻記』をプレゼントします(1家族に1冊)。

とき 7月15日(土)から8月31日(木)まで

対象 小・中学生

◆親子で美術館

美術館で心に残った作品を粘土で作ってみませんか?親子で美術に親しむワークショップです。クイズに答えながら楽しく展示を見たあとに、彫刻づくりをします。

とき 7月22日(土)第1部午前10時から正午まで
第2部午後1時30分から3時30分まで

対象 小学生と保護者

定員 各部7組(1組の人数は応相談)

費用 一人300円(材料費)観覧料は不要

申込期間 6月19日から7月5日までに、dd0021@city.kodaira.lg.jpに①参加者名、②参加人数、③電話番号、④住所を明記してメールをお送りください。応募多数の場合は抽選となります。



◆展覧会「でんちゅうストラット」

平櫛田中が暮らした旧宅を会場に、武蔵野美術大学彫刻学科の学生や第一線で活躍するゲスト作家の作品を展示します。

とき 7月28日(水)から9月3日(日)まで

ところ 平櫛田中彫刻美術館 記念館

観覧料 美術館の観覧料で見学できます。(夏休みわくわく体験美術館の期間中は、小・中学生は無料)



◆開催中の展覧会「マンガで楽しむ田中作品」

平櫛田中の107年の生涯をわかりやすく描いた漫画『田中彫刻記』に登場する平櫛田中の代表的な作品を、マンガのシーンとともに紹介します。

とき 9月3日(日)まで

開館時間 午前10時から午後4時まで ※なるべく、午後3時30分までに入館してください。

休館日 火曜日(祝日にあたる場合はその翌日が休館)

観覧料 一般…300円(220円)、小・中学生…150円(110円) ※カッコ内は、団体20人以上です。

問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098

夏休みおすすめ本リストを配布します

小平市立図書館では毎年、夏休みに子どもたちに読んでもらいたい本を紹介するリストを作成しています。今年も7月中旬までに、小・中学校を通じて子どもたちに

リストを配布する予定です。

楽しい本を紹介していますので、ぜひ、市内のお近くの図書館にお越しください。

なお、夏休みおすすめ本は、多くの子どもたちに読んでもらうため、貸出と予約はそれぞれ一回につき一人5冊までです。

問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246